

その他の土木工事業における石、砂、砂利を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	自社資材置場において石材の整理整頓作業中、資材が氷っていたため滑り、右手薬指の先を挟む。	59～29	10
1	13～14	お客様宅の庭で石柱を移動中に、150kgの石柱を4人で持って運搬しようとした時にバランスをくずし、腰を痛めてしまった。	44～9	1
2	10～11	資材置場を整理中、板石の積み直しをされていて、持った石を置く際に、石が滑って下にあった石との間に、右手小指を挟んでしまい小指を負傷した。	44～29	10
3	13～14	庭園工事の石組作業中に、左足を石と石の間に挟まれた。	60～9	1
4	10～11	現場でブロック（200×400）を積む作業をしている時、低い姿勢から持ち上げたと同時に背中に激しい痛みを感じ、立つことができなくなった。	24～9	1
4	15～16	現場で石を直す作業中、前の石を動かした際に立石が倒れてきて、右腕がはさまれた。	81～9	1
4	11～12	玄関前の板石張り工事終了後、使用しなかった影石を一輪車に乗せて片付ける際に、タイヤが縁石に乗り上げてバランスを失い、石がころび落ちて右足第1趾、2趾	28～	1

		を直撃した。		9
7	16~17	土間の撤去が終わりトラックで運搬したガラ袋を持ってコンテナの後に来た時置いてあったガラ袋に隠れていた差し筋アンカーに左足の外側が当たり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。骨折していた。	65	1 ~ 9
7	10~11	敷地内で、コンクリートの平板（重さ5kg、30cm角）を設置していたとき、腰に痛みが生じた。	41	10 ~ 29
7	9~10	残土置場にて、石の加工のため、石を選別していたとき、上から転がってきた石に右手を挟まれ負傷した。	63	10 ~ 29
9	10~11	作業場に於いて、墓地新設に使用する石材90cm×90cm×15cmをカットオフを使って加工し台から降ろす際、石が台からすべり落ち、右足を負傷した。	35	1 ~ 9
9	16~17	外溝工事においてコンクリートブロック積工事の際、ブロックの穴に指をひっかけた状態で両手で一個ずつ持ち運んでいた時、地面に置いてあったブロックにけつまずきブロックを持った状態で地面に突いた際、左手中指が反り返り負傷する。	69	1 ~ 9
11	10~11	山林にて間伐作業中に、胸高直径約15cm、樹高約10mの立ち枯れの木を伐倒したところ、隣の立木に当たり、伐倒木の上部が樹冠から約1/3の部分で折れて受傷者に落下してきた。それを右手で払い避けた際に右肩を負傷した。	62	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)